

波賀市民局周辺の拠点のイメージ
「生きがい・趣味」「買い物・交通」「子育て」



～ 検討委員会での意見の概要（買い物・交通） ～

買い物

- ・道の駅みなみ波賀も日常生活品や食料品の販売をしている。Aコープ跡地の活用などで店舗再開があったとしても双方の良さを出し合っていくことが大切である。
- ・遊び場とセットになった買い物施設がほしい。
- ・波賀流通元気プロジェクトでも旧Aコープの活用を議論している。
- ・市民センター、市民局とAコープを直結してはどうか。

交通

- ・交通は大型バスにこだわらず、小型バスでの運行とすることで経費節減し、運行時間を増やすことができないか。また、地域住民の積極的な利用も必要である。
- ・子どもたちにも利用しやすい時間帯やルートの設定が必要である。

～ 検討委員会での意見の概要（生きがい・趣味、子育て） ～

市民センターを市民局に併設

- ・市民センター波賀は老朽化が激しいため早急に建て替えを考えてもらいたい。
- ・市民センター波賀のホールについては、避難所機能や市民局との連携も考えると市民局に併設した形が望ましい。
- ・ステージが広く座席が階段式で格納できる独特なホールもよいのではないか。
- ・音響設備の充実が必要である。

市民局の活用と業務の一本化

- ・波賀市民局は立派な木造の建物であるが、全体が活かされておらず、行政機能以外にも空き部屋を活用して生涯学習機能や図書館機能を一緒にすることで賑わいが出てくるのではないか。
- ・波賀市民局の活用については、1階が市民活用スペース、2階が行政機能とする方が市民は利用しやすいのではないか。
- ・学校園所の子どもたちも使えるようなホール、子どもたちと大人の両方が使いやすい図書室が望まれる。
- ・波賀市民局の窓口とメイプル福祉センターの機能を一緒にすべきである。
- ・ホールの建替えが必要であるがそれ以外の部分は波賀市民局の空き部屋を有効に活用することで代用できるのではないか。
- ・議場を音楽ステージなどに活用することも考えられる。

憩いの場の併設

- ・市民センターに隣接したかたちで大きな遊具を備えた公園があると子どもたちも集まり、拠点の中でいろいろな世代の空間の共有・交流にもつながる。

注意すべき事項

- ・10年～20年先を見据え、今ある施設や機能で重複する部分はないか。
- ・過度な施設整備は将来の負担になるので必要最小限にすべきではないか。

安賀周辺の拠点のイメージ
「子育て・教育」



～ 検討委員会での意見の概要（子育て・教育） ～

教育の拠点を安賀とする

- ・波賀中学校は老朽化している。子ども的人数が減っていく中で幼稚園・小学校・中学校がひとつの一貫した施設に集まり連携することで賑わいが生まれるのではないかと。
- ・メイプル福祉センターに学習機能があればよい。

■ 穴粟市生活圏ネットワークのイメージ



出典：穴粟市総合計画